

2017年 日化協 LRI 研究報告会

日本化学工業協会(日化協)は、国際化学工業協会協議会(ICCA)の自主活動として、欧米の化学工業会とともに、化学物質の人健康や環境に及ぼす影響に関する研究を支援(LRI:Long-range Research Initiative)しています。この LRI の活動を広く皆様に知っていただく取り組みの一つとして、毎年夏に研究報告会を開催しています。

今年度は、8月25日(金)に、東京証券会館にて行いました。当日は約170名の参加がありました。各セッションの発表やパネルディスカッションでは、活発な意見交換や討論が行われました。



武居綾子 社長

午前の部では、まずLRI顧問会議委員でイカルス・ジャパン社長の武居綾子氏より、6月21、22日にイタリアのコモで開催されたLRI & JRC 国際ワークショップ(WS)の参加報告が行われました。「Fit-For-Purpose Exposure Assessments For Risk-Based Decision Making」をテーマにした今年のWSには日米欧から約100名の研究者が参加し、最新の取り組みを共有するとともに成果をどのように活用していくかの議論が行われたこと、またこれを踏まえた日本の課題について、武居氏より紹介がありました。



小椋康光 教授



大森崇 教授

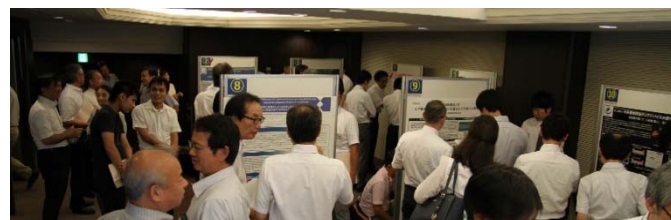


吉成浩一 教授

続いて、日化協LRI賞の受賞者による記念講演が行われました。日化協LRI賞は化学物質の影響に関する研究で優れた業績を上げた研究者を表彰することを目的に2015年に日本毒性学会、2016年に日本動物実験代替法学会

に、それぞれ賞を創設したものです。今回は、2016年度日本毒性学会日化協LRI賞の千葉大学大学院小椋康光教授より「金属化合物の新規化学形態分析法の構築と毒性発現機構解明における応用」、2016年度日本動物実験代替法学会日化協LRI賞の神戸大学医学部大森崇特命教授より「コメットアッセイ JaCVAM 国際バリデーション研究における中央値に基づく再解析の結果」、続けて2017年度日本毒性学会日化協LRI賞の静岡県立大学薬学部吉成浩一教授より「薬物代謝及び核内受容体研究を基盤とした化学物質の肝毒性発現機序解明と評価予測系開発」と題して、それぞれLRI賞受賞に関わった研究内容について講演いただきました。

昼休みには、ロビーにて現在採択中のLRI研究15課題の進捗状況を紹介する「ポスターセッション」を行い、LRIの研究委託者と研究会参加者が直接ディスカッションできる場として、会場は時間一杯熱心に意見交換する研究者で盛況でした。



午後の部では、「毒性予測の今後」をテーマとしたシンポジウムを行ないました。日化協石井常務理事から予測手法の有用性と産業界の期待を述べた後に、AOP(毒性発現経路)に基づく手法の開発やビッグデータを用いた人工知能(AI)の利用等、最新の予測手法について講演がありました。

◆ 「毒性予測に対する産業界の期待」

石井 一弥（一般社団法人 日本化学工業協会 常務理事）



◆ 「化学物質の生態毒性予測の動向」

古濱 彩子（国立研究開発法人 国立環境研究所環境リスク・健康研究センター 主任研究員）



◆ 「OECD AOP プロジェクトと免疫毒性 AOP 作成の試み」

久田 茂（あすか製薬株式会社 創薬研究本部）



◆ 「毒性発現経路および化学構造情報を指標としたヒト有害反応の予測法の開発」

植沢 芳広（明治薬科大学 臨床薬剤学研究室 准教授）



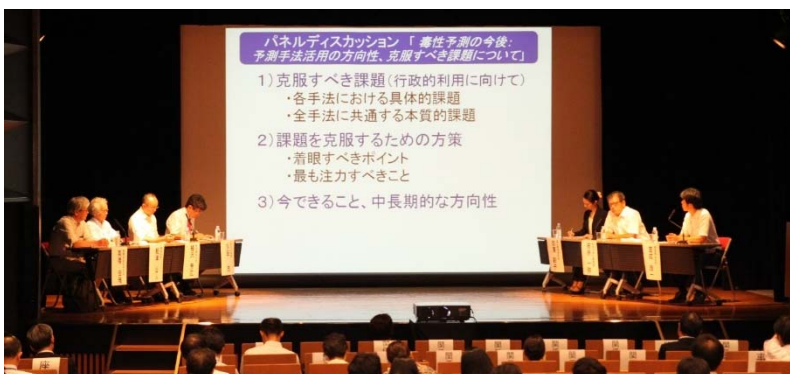
◆ 「毒性関連ビッグデータを用いた人工知能による次世代型安全性予測手法開発にむけて」

船津 公人（東京大学大学院 工学系研究科 教授）



◆ パネルディスカッション

講演の後、LRI 賞受賞者の静岡県立大吉成教授を座長に迎え、5人の講演者に高橋由雅豊橋技術科学大学教授を加えた6人のパネリストによる、「毒性予測の今後：予測手法活用の方向性、克服すべき課題について」と題するパネルディスカッションを行いました。会場からも多くの質問がありましたが、



特に予測手法の行政的活用については、産官学それぞれの立場から意見が出て、結果の信頼性をどう確保するかが共通の課題としてあげられるとともに、予測手法を実用化していくには、皆が分かる信頼性の基準とガイドラインが必要であることが確認されました。

最後に、LRI顧問会議委員である食品農医薬品安全性評価センター名誉理事長林真氏により、閉会挨拶があり、総括として特にシンポジウムで議論された予測手法の行政的利用に向けた克服すべき課題に触れて、完全な予測手法の完成まで待つのではなく、着手可能などころから進めていくべきとの講評があり、報告会を終了しました。

以上